

三重県内経済情勢(平成 21 年 4 月の指標から)

県内経済は悪化が続いている(生産は下げ止まりつつある。個人消費は弱まっている。雇用情勢は悪化している。)

1. 概況

(生産)

鉱工業生産指数は 2 か月連続で上昇し【図 1】、鉱工業製品在庫指数は 2 か月連続で下降した。

(消費)

大型小売店販売額(既存店調整値)は前年同月を 9 か月連続で下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額(富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県)は 1 年 10 か月連続で前年同月比増となったが、家電販売額(中部 8 県)は 5 か月連続で前年同月比減となった。

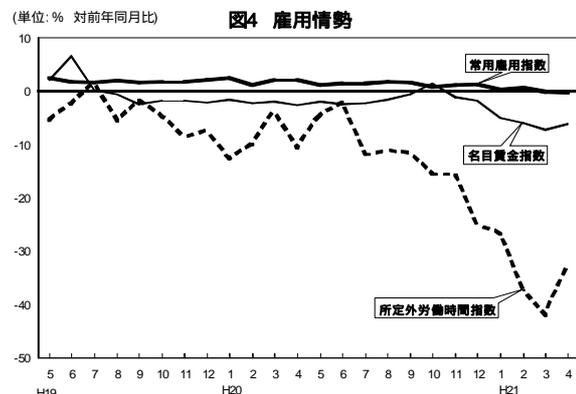
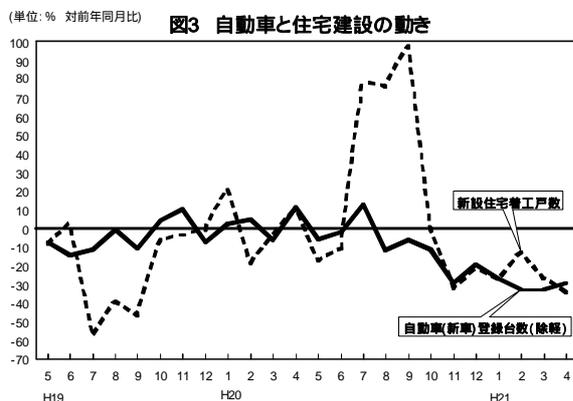
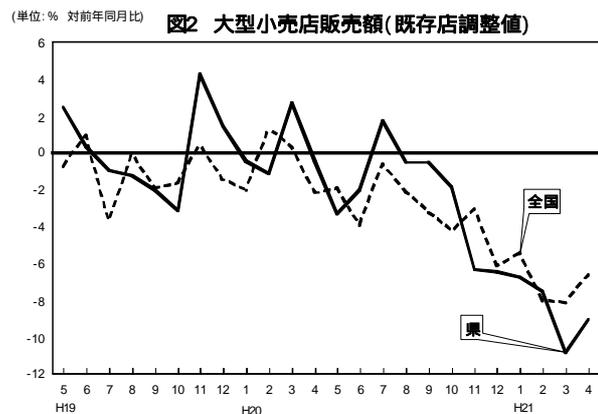
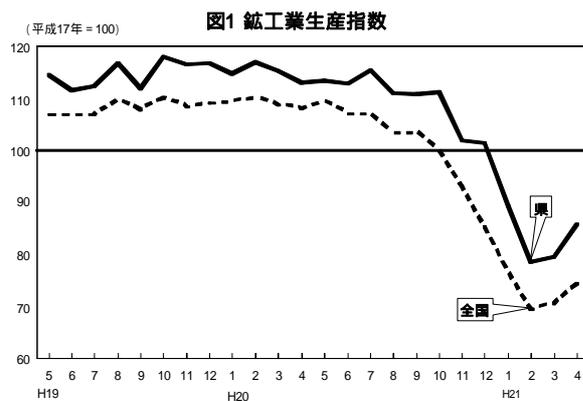
自動車(新車)登録台数(軽自動車を除く)は 9 か月連続で前年同月比減となり【図 3】、軽自動車販売台数も 6 か月連続で前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は 7 か月連続で前年同月比減となった。【図 3】

(雇用)

有効求人倍率は 0.41 倍となり、前月を 0.03 ポイント下回った。

所定外労働時間指数は 1 年 9 か月連続で前年同月比減、常用雇用指数は 2 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 6 か月連続で前年同月比減となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は85.7となり、前月比7.9%増と2か月連続で上昇した。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（93.3）は前月比22.3%増と2か月ぶりに上昇し、輸送機械工業（89.5）も前月比6.2%増と2か月連続で上昇したものの、化学工業（76.3）は前月比3.4%減と2か月ぶりの下降となった。
- ・ 鉱工業製品在庫指数（H17=100）は119.1で、前月比0.9%減と2か月連続で下降した。（電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

（前月比：％、H17=100）	1月	2月	3月	4月
鉱工業生産指数	-12.0	-11.9	1.0	7.9
（電気機械工業：旧分類）	-16.0	9.8	-10.2	22.3
（輸送機械工業）	-10.2	-20.3	2.2	6.2
（化学工業）	-6.4	-11.7	16.0	-3.4
鉱工業生産指数（全国）	-10.1	-9.4	1.6	5.9
鉱工業製品在庫指数	3.5	0.5	-6.2	-0.9

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比9.1%減と9か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は1年10か月連続で前年同月比増となったが、家電販売額（中部8県）は5か月連続で前年同月比減となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比29.2%減と9か月連続で減少し、軽自動車販売台数も前年同月比10.7%減と6か月連続で減少した。全自動車では前年同月比21.8%減と9か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額（県内既存店）	-6.8	-7.6	-10.9	-9.1
〃（全国既存店）	-5.5	-8.1	-8.2	-6.7
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	8.3	3.3	4.6	4.4
家電販売額（8県全店）	-1.7	-4.2	-3.4	-7.5
自動車（新車）登録台数（県内）	-26.7	-32.7	-32.8	-29.2
〃（全国）	-27.9	-32.4	-31.5	-28.6
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-10.0	-11.2	-18.2	-10.7
〃（全国）	-5.6	-9.8	-13.8	-13.4
自動車・軽自動車 合計（県内）	-20.2	-24.5	-27.1	-21.8
〃（全国）	-19.9	-24.3	-25.3	-23.0

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は1,144戸となり、前年同月比34.5%減と7か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	1月	2月	3月	4月
新設住宅着工戸数	-28.1	-12.8	-26.9	-34.5
（参考）（持家）	-29.3	-17.3	-14.5	-28.2
（貸家）	-22.8	2.8	-41.4	-38.6
（分譲住宅）	-66.7	-43.8	-14.5	-51.9

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は41億6千6百万円となり、前年同月比27.1%減と2か月ぶりに減少した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は30億3千1百万円となり前年同月比19.4%減と2か月ぶりに減少し、「地方の機関」からの受注工事額も11億3千4百万円となり前年同月比42.0%減と4か月ぶりに減少した。

(前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
受注工事総額(県内)	18.8	-14.2	14.7	-27.1
国の機関	-77.4	-19.5	2.8	-19.4
地方の機関	417.2	7.2	56.0	-42.0
受注工事総額(全国)	-7.6	-4.9	18.1	21.8

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.41倍となり、前月を0.03ポイント下回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比33.3%減となり、1年9か月連続で下降した。
- ・常用雇用指数は前年同月比0.3%減となり、2か月連続で下降した。
- ・名目賃金指数は前年同月比6.3%減となり、6か月連続で下降した。
- ・完全失業率(全国値)は5.0%となり、前月より0.2ポイント上昇した。
- ・三重県の完全失業率(モデル推計値)は1～3月期で3.4%となり、前期(2.9%)に比べて0.5ポイント上昇した。

(前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
有効求人倍率(三重県、倍)	0.69	0.55	0.44	0.41
" (全国、倍)	0.67	0.59	0.52	0.46
所定外労働時間指数	-26.9	-37.4	-42.0	-33.3
常用雇用指数	0.2	0.4	-0.2	-0.3
名目賃金指数	-5.1	-6.2	-7.4	-6.3
完全失業率(全国)	4.1	4.4	4.8	5.0
(参考)完全失業率(三重県:モデル推計値)	3.4(1～3月期)			

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は15件発生した。負債総額は19億4千8百万円(前年同月比7.2%減)と3か月連続で前年同月比減となった。

(%：前年同月比)	1月	2月	3月	4月
企業倒産件数(件)	7	13	15	15
負債総額(%)	492.0	-73.0	-68.4	-7.2

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数(H17=100)は101.9で、前月比は0.1%上昇、前年同月比では0.5%上昇した。

(前月比・前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
消費者物価指数(4市平均)	-0.7	-0.2	0.4	0.1
" (全国)	0.5	0.5	0.5	0.5
" (全国)	-0.6	-0.3	0.3	0.1

3. 景気動向指数（CI 指数）

・一致指数（景気の現状を示す指標）は43.7となり、前月と比較して4.6ポイント上昇した。一致指数からみる県内経済の基調は、悪化を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる50%ラインを9か月連続で下回ったものの、5か月ぶりに0%から回復し、14.3%となった。

（前月差：ポイント）	1月	2月	3月	4月
CI一致指数	-11.4	-5.5	-2.6	4.6
3か月後方移動平均	-10.3	-8.8	-6.5	-1.2
7か月後方移動平均	-7.0	-7.4	-6.9	-5.8
DI一致指数（%）	0.0	0.0	0.0	14.3

・先行指数（4月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は77.0となり、前月と比較して5.0ポイント上昇した。DI 指数は、景気判断の分かれ目となる50%ラインを2か月連続で下回り16.7%となった。

（前月差：ポイント）	1月	2月	3月	4月
CI先行指数	-8.2	-3.3	-3.2	5.0
3か月後方移動平均	-2.1	-1.9	-4.9	-0.5
7か月後方移動平均	-3.8	-4.0	-3.7	-2.0
DI先行指数（%）	33.3	50.0	33.3	16.7

